

GOAL ALLスマイル&ハッピー

令和5年度重点目標

もっとおもしろい学校をみんなでつくりだそう

心身ともに調和のとれた、人間性豊かな子どもの育成
校訓 よく考え 心豊かな たくましい子

学校の存在価値

- 公教育の立場を踏まえて
 - 全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感を持つ。
- 時代の要請に応える、新しい学校教育の創造を
 - OECD ラーニング・コッパ 2030/well-being
 - アソソフ ライ最終年度→時代を切り開く力の育成・授業改善
 - メンタリング、若年研等、自ら広く学ぶ研修スタイル
 - 個別最適・協働的な学び・ICT活用・指導と評価一体化
 - ダイバーシティ&インクルーシブの視点で
 - 働き方改革→教師を明るく元気に
 - 一部教科担任制/河川・水教育単元開発校5年
 - 学校応援事業「ホンモノとの出会い→芸術との出会い」
 - GIGA 端末毎日使う→出席確認・ミニテ・スホと異なる使用方法

目指す子ども像 「自ら考え、みんなでやりとげる」

みんなが**知る・できる**（聴き合うも）から

全員がハテナをもち、**みんなの問題**にする
全員が考えをしぼり出す、まず**やってみる**
みんなで見直して**深め**、そして**やりとげる**

最後に振り返って自分ってスゴイって思えるといいな♪

45分 教師の腕磨く

意味付け・価値付けを
(金の)言葉で

ミッション

- WITH コロナで学校が変わる、変える
 - ・子の未来のため、親と教師が共に歩む
- チーム永犬丸
 - ・大きな目標に向かって共に進む集団
- どこに向かうのか
 - ・未来に求められる力は何か？

成果と課題

- 好奇心が高く、自学が盛ん
- フレンドリーで主体的協働的に楽しむ子ども
- プロフェッショナル型、トライ&エラー定着
- もっと自律した一人の人として育てたい
- 学力・体力、規範意識の向上

なぜ 自ら考えるのか

- ☆人に頼らず自立したい
- ☆言われてやっても身に付かない
- ☆考えることは楽しい
- ☆より大きな感動が得られる

自ら考えるために必要なこと

- みんなが知る・できる「**レディネス**」 **今年度課題**
 - ・小さなできたの積み重ね→ミニテストの積み重ねで自分を高める「習得」
 - ・知識・技能は、短時間で喜びをもって鍛錬「効率化・自己変容自覚」
- 全員がハテナをもち、みんなの問題に設定する **考え1**
 - ・2つを比べて違いを明示する「事象提示」
 - ・問う→答える→問い返す「初発問と揺さぶり」
 - ・個別の問題をみんなの問題にする「相違点と共通点に着目」
- 全員が考えを絞り出す・やってみる「**思考・判断・試行**」 **考え2**
 - ・前の学習や経験を思い出し結び付ける「因果関係・類推適用」
 - ・2つの異なるものを結び付ける「新しいアイデアの発想」
 - ・トライ&エラーでまずやってみる「計画力・実行力」
- みんなで見直して深め、やり遂げる「**見直し・実行力**」 **考え3**
 - ・個別の考えを聴き合う「個別最適と協働学び」「主体的と対話的学び」
 - ・問い返して揺さぶり、価値付けて深める度合いが教師の腕「深化発展」
 - ・知る・できる「意味付け・価値付け・習得(鍛える)」
- 個で振り返り「**自分はスゴイ**」と思える「**自己肯定感**」 **考え4**
 - ・前の自分と今の自分の変容の見とり「変容の度合いを上げる」

なぜ みんなで行うのか

- ☆みんなで行うと力が出てくる
- ☆競争から共創・認め合う集団へ
- ☆違う考えが新しい自分を創る
- ☆感動が分かち合える

みんなで行うために必要なこと

- すべての子どもが輝くことを目指す **今年度課題**
 - ◎命を大切にする
 - ◎一人一人が大切にされる
 - ・体を傷つけられない
 - ・心を傷つけられない
 - ◎お互いが認め合い、安心感の中で学び合う
 - ・児童の居場所づくり
 - ・教師のまなざしを温かいものにする
 - ・教師も認め合う
- みんなの安心感のために規律がある **5月定着**
 - ◎学習の規律（安心感の中での学び合い）
 - ・聴き合う、問いかける、問い返す、うなずく、人格否定しない、言葉遣い
 - ◎「**あるはしいそ**」の約束 → 自律への道
 - ・あいさつ（心をひらくツール、おはようにはおはよう）
 - ・ろうか歩行（相手のことを考えた行動、安全・安心）
 - ・はきものそろえ（〇〇がそろえば心もそろえ）
 - ・しせい（公の場にあった姿勢）
 - ・いすいれ（先を読む）
 - ・そうじ（一人で・すばやく・全力で）



なぜ やり遂げるのか

- ☆より良いものを創り出す
- ☆納得したいから
- ☆責任を持てる人になりたい
- ☆新しい世界が見えるかも

やり遂げるために必要なこと

- みんながひとつの目標「**ゴール**」を持つ **今年度課題**
 - ・面白い学校をみんなで創り出すは共通
 - ・各プロジェクトがどうなれば成功なのかゴールイメージを共有する
- リーダーは責任もって提案を担い、他は実現を協力する
 - ・リサーチは必要だが提案は完全でなくてよい。肉付けはみんなで
 - ・見通しは早めがよい。回覧板なども活用する。
- 困難や課題があるから楽しい、みんなで楽しみながら乗り越える
 - ◎自ら考えよう
 - ・アイデアを絞り出す
 - ◎みんなでやり遂げよう
 - ・子ども同士、保護者と教師、保護者同士(親子・いっしょ)、地域と子ども
 - ・ホンモノとの出会いをつくる（ロールモデル、感性の涵養）
 - ・教師同士が、術を磨き合う。
 - 今年は特に、学級開き、規範意識、子どもに「知る・できる」を短時間で喜びをもって習得させる技、子どもにける教師の金の言葉（価値づけ）

- 指標**
- 学ぶことが楽しいと答える、前のめりに学習している
 - 子ども同士が言葉を聴き合う、否定がない、認め合う風土
 - 一人一人異なるノート（自分の考えが理由づけて書いてある）

- 指標**
- 教室にゴミが落ちていない、棚が整理されている
 - 割り込んだり、大声や威圧語を出したりする子がいない
 - どうぞ、ありがとう、笑顔があふれている

- 指標**
- 振り返りに「達成感」「やりがい」などの言葉がある
 - アンケートで、「自分にはよいところがある」が85%超える
 - 自学ノート1冊超えがR4より多くなった

安全・安心は挑戦するための基盤（教師がすること）

- 危機予測する健康安全教育の充実
 - ・マスク個人判断、健康チェック教室、換気、消毒、給食解除
 - ・8:35までに健康観察、9:00までに居所把握
 - ・怪我・紛失は当日経緯把握し保護者連絡（連絡帳×）
 - ・怪我の病院行、病気の帰宅は管理職に必ず連絡
 - ・その後の経過に心を寄せる
 - ・不登校対応；定期連絡、ワライン、関係機関繋ぐ
 - ・安全管理（月一回）怪我・事故なき環境づくり

- 食育の推進
 - ・アレルギー誤食ゼロ 2重、3重のチェック
 - ・調理や火気使用時には管理職へ事前連絡
- 教師の働き方改革
 - ・時間外月45時間・年360時間以内、年休5日以上
 - ・会議削減、伝達は短く、回覧に書く
 - ・定時退校日毎週水18時までに下校
 - ・トラブル予測で早期対応（報告連絡相談）

教師としての腕磨きを自ら愉しむ

- 【1学期】
 - 一人一人の子どもを知る教師
 - 5月安心できる学級にコントロール言える、聴ける、認める学級
 - 習得は前提 ☆GIGA 端末活用ミニテ
 - 6月導入15分を見せ合おう
 - ☆全員にハテナもたせる術とは
- 指標；子ども全員笑顔になる

- 【2学期】
 - 小グループの主体活動任せられる教師
 - リーダー育成、見通し、アドバイスの腕を磨く
 - 10月「もっと面白いえいスポ」を創り出す
 - 今年に全力かけっこを組み込もう
 - 11月「生活・総合で考えまとめる子ども」
 - ☆GIGA 端末で発表 ☆導入15分ハテナ
- 指標；子どもが真剣に論じ合う姿

- 【3学期】
 - 子どもの成長を実感させる教師
 - ノートを振り返る、写真ビデオで思い出す
 - 2月 成長の姿を示す学習参観
 - 3月 次の学年に進むレディネスはOK？
 - ☆GIGA 端末で振り返りが書ける(中高学年)
- 指標；アンケ、テスト等
指標；子どもが人にやさしくなる姿[自律]